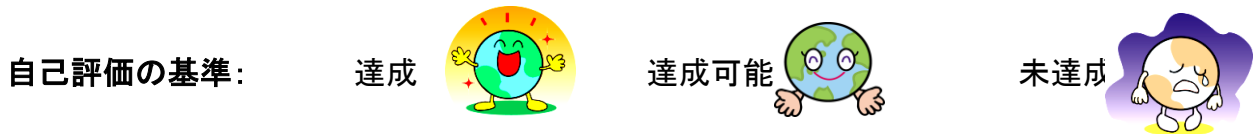


# 1 目標設定項目の進捗状況

環境基本計画、環境保全行動計画では、6つの計画目標ごとに数値目標を設定しています。各項目の目標数値及び平成20年度の進捗状況は次のとおりで、達成、達成可能、未達成の三段階で自己評価し図で表しています。








## ①暮らしを大切にすまち(生活環境の保全)

公共下水道の普及については、災害後の予算削減と雨水整備を先行しているため目標達成は難しい状況となっています。合併処理浄化槽の設置についても予算削減により目標を達成できませんでした。大気汚染物質については、自動測定機により常時監視しており、三項目は環境基準を達成していますが、光化学オキシダントが環境基準を達成していません。この原因としては、測定時の気象条件や大気中自動車や事業所から排出される窒素酸化物等の影響が考えられます。

番号	項目	担当課	基準数値	目標数値		H20年度 進捗状況	評価
			基準年度	環境保全行動計画 (H20年度)	環境基本計画 中間年 (H20年度)		
1	大気汚染物質の環境濃度の目標値	環境保全課	環境基準の達成維持	環境基準の達成維持		環境基準達成 (5/5地点)	
2			環境基準の達成維持	環境基準の達成維持		環境基準達成 (4/4地点)	
3			環境基準の達成維持	環境基準の達成維持		環境基準未達成 (5/5地点)	
4			環境基準の達成維持	環境基準の達成維持		環境基準未達成 (0/4地点)	
5	合併処理浄化槽設置基数 (補助対象累計)		873基 (H14)	1,893基	1,893基	1,619基	
6	ダイオキシン類の環境調査 (大気・水質・土壌)		環境基準の達成維持	環境基準の達成維持		環境基準達成 (大気1地点、土壌1地点)	
7	地下水調査	環境保全課	水質・水位の定期調査	水質の定期調査		2地点で実施	
		水源管理課		水位の定期調査		12地点で実施	
8	公共下水道人口普及率	下水道建設課	48.9% (H14)	—	57.1%	53.7%	
9	自然農園開設箇所数	農林水産課	57か所 (H16)	60か所	60か所	51か所	
10	認定農業者数		22人 (H16)	25人	25人	38人	

## ②自然を大切にすまち(自然環境の保全)

生き物調査とリストの作成については、現在のところ進んでいません。緑被率と海域の環境基準については目標どおり進んでいますが、尻無川、東川の水質改善は図られていません。特に尻無川については基準年度より悪化しており、ごみや生活排水が原因と考えられます。自主防災組織の結成は順調に推移し、目標値を達成しています。

番号	項目	担当課	基準数値	目標数値		H20年度進捗状況	評価
			基準年度	環境保全行動計画(H20年度)	環境基本計画中間年(H20年度)		
11	生き物調査とリストの作成	環境保全課	—	—	2分類	未実施	
12	緑被率	都市計画課	59.1% (H7)	—	現状維持	現状維持	
13	尻無川・東川の水質改善(BOD)	環境保全課	尻無川3.6mg/l (H13) 東川4.3mg/l (H13)	—	3.0mg/l	尻無川 5.2mg/l 東川 6.1mg/l	
14	海域の環境基準達成率(COD)		31.0% (H14)	—	100%	100% (12/12)	
15	自主防災組織の組織率	防災安全課	15.6% (H15)	100%	100%	100%	

## ③まち並みを大切にすまち(魅力ある都市空間の形成)

公共施設の緑化については、区画整理事業で街路樹等の植栽が始まり増加しています。今後は公園や緑地の整備も行う予定であり、緑化面積は増加する予定です。その他の各項目は予定どおり進捗しています。

番号	項目	担当課	基準数値	目標数値		H20年度進捗状況	評価
			基準年度	環境保全行動計画(H20年度)	環境基本計画中間年(H20年度)		
16	市民一人当たりの都市公園等面積	都市計画課	10.7㎡ (H14)	10.8㎡	10.8㎡	10.7㎡	
17	ビオトープの創出か所数	環境保全課	—	5か所	5か所	3か所	
18	公共施設の緑化	建築課 学校教育課 社会教育課 区画整理課	緑化面積の増加	緑化面積の増加		増加(区画整理事業)	
19	指定文化財等の説明板整備	体育文化課 別子銅山文化遺産課	良好なデザインの説明板整備	良好なデザインの説明板整備		13件	

#### ④資源・エネルギーを大切にすまち(循環型社会の形成)

市民一人一日当たりのごみ発生量は、目標を達成できました。平成18年4月に6種分別から9種分別に変更したことが浸透し、リサイクル率は大幅に増加したことで、ごみ発生量が減少したものと考えられます。が、全国平均や愛媛県の平均と比較すると、依然ごみが多い状況が続いており、今後ごみの減量化を図る必要があります。

番号	項目	担当課	基準数値	目標数値		H20年度 進捗状況	評価
			基準年度	環境保全 行動計画 (H20年度)	環境基本計画 中間年 (H20年度)		
20	一般家庭年間電力消費量 (一世帯当たり)	環境保全課	5,295kwh (H14)	6,414kwh	6,414kwh	5,392kwh	
21	市の公用車への低公害車等の導入 (累積数)	管財課	3台 (H14)	20台	20台	36台	
22	上水道有収率	水道局工務課	87.6% (H14)	89.4%	89.4%	90.8%	
23	市民一人一日当たりのごみ発生量	ごみ減量課	1,521g (H14)	1,108g	1,108g	1,088g	
24	資源ごみのリサイクル率		7.7% (H14)	13.9%	13.9%	16.6%	
25	にいはまグリーンショップ認定店舗数	環境保全課	—	70店舗	70店舗	33店舗	
26	市の事務用品のグリーン購入		グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	グリーン購入率 82%		
27	学校版ISO認証学校	学校教育課 環境保全課	学校版ISO認証学校の増加	学校版ISO認証学校の増加		3校	
28	里親登録件数	市民活動推進課	34件 (H15)	100件	100件	78件	




<中央公園噴水>



<スクールエコ認定式>


## ⑤かけがえのない地球を大切にすまち(地球環境の保全)

市の事務事業における温室効果ガスの総排出量については、廃プラ焼却量の増加により大幅に増え、中間目標は達成できませんでした。環境家計簿の利用状況については、さらに積極的な取り組みが必要です。

番号	項目	担当課	基準数値	目標数値		H20年度 進捗状況	評価
			基準年度	環境保全 行動計画 (H20年度)	環境基本計画 中間年 (H20年度)		
29	環境家計簿の利用状況	環境保全課	—	200世帯	200世帯	224世帯	
30	温室効果ガス総排出量 (市の事務事業)		30,050t-CO2 (H15)	5%減	28,547t- CO2 (5%減)	32,544t-CO2 (14%増)	

## ⑥人を大切にするまち(環境教育・学習の推進)

市政だより等で市民活動情報を提供しましたが、今後は市民参加型の環境活動情報を提供する工夫が必要と考えます。こどもエコクラブの推進では、目標団体数を達成できました。

番号	項目	担当課	基準数値	目標数値		H20年度 進捗状況	評価
			基準年度	環境保全 行動計画 (H20年度)	環境基本計画 中間年 (H20年度)		
31	こどもエコクラブの推進	環境保全課	4団体 (H14)	6団体	6団体	6団体	
32	広報誌や情報誌、インターネットなどによる市民活動情報の提供	環境保全課 ごみ減量課	市民活動情報の提供	市民活動情報の提供		広報誌、インターネット、CATV等による市民活動情報の提供の実施	